

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部 局 名	教育委員会		
	課 名	学校教育課		
	係 名	庶務係		
	記 入 者	伊佐岡 健一	電話(内線)	625

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	計画 予算	小中学校施設整備事業 小中学校施設整備事業費			(3) 事業の 優先度	B	
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市			
① 事業の区分	一般事業					(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	普通建設事業費(ハード事業)		
② 施策コード	41201		(総合計画掲載ページ 103 ページ)				会計区分	一般会計		
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)						財源区分	市単独		
基本施策	1 生きる力を育む教育環境づくり(学校教育)						予算科目	款 10 項 2・3 目 3		
施策	安心して学べる学校づくりの推進						予算書上の	小中学校施設整備事業費・中学校施設整備事業費		
施策内容	学校施設・設備の充実						事業名称	(予算書 156.16 ページに掲載)		
(5) 事業期間					(8) 事務分類		自治事務			
開始 平成 13 年 4 月から 終了 年 月まで (力年)					根拠法令					

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象者（だれを・何を）		(3) 事業内容（具体的に何を行うのか、そのために何を行うのか）	
小中学校の児童・生徒及び教職員		施設改修が必要な箇所の調査結果を基に、緊急性・危険性を勘案し優先順位を付して整備を実施する。 ・学校施設の整備・改修に関わる工事 （運動施設や電気・衛生設備の改修、老朽化した防水箇所の補修等）	
(2) めざす姿（どのような状態にしたいのか・意図）		■ 事業の全体計画（※計画等がある場合、H24年度末時点で記入） ・ 総事業費 千円 ・ 進捗率 %	
児童・生徒が安全で快適に学ぶことができる教育環境の確保			
(4) 事業開始のきっかけや市民・議会の要望や意見、他市の状況など（※ 1-(8)事務分類 法定受託の場合は、記入必要なし）			
学校施設の老朽化が進み、児童・生徒が安心して学べる環境が確保できないため。			

3. 事業コスト及び改善措置

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
実施計画							
● 予算内訳		実績・決算額（千円）		予算額（千円）		計画額・見込額（千円）	
事業内容		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	
(1) 事務事業費の コスト	事業費						
	小学校施設整備事業費	5,002	12,135	6,000	6,000	6,000	
	中学校施設整備事業費	13,417	26,900	4,000	4,000	4,000	
	結城小学校グラウンド改修			50,000		20,000	
	結城小学校受変電設備改修				7,000		
	合計	18,419	39,035	10,000	17,000	30,000	
	財源						
国庫支出金（千円）			16,666		6,000		
県支出金（千円）							
地方債（千円）		19,100	25,000		10,500		
その他特定財源（千円）							
一般財源（千円）	18,419	19,935	10,000	17,000	13,500		
合計（千円）	18,419	39,035	10,000	17,000	30,000		
補助・起債制度名		市町村振興資金		学校施設環境改善 交付金 市町村振興 資金		学校施設環境改善 交付金(要望予定) 市町村振興資金	

(2) 平成25年度以降の改善・改革点(※ 記入の必要なし)

学校からの改善要望を取り入れながら、緊急性や危険性の高い事業を優先的に整備する。また、限られた財源を有効に活用できるよう、より効果的な修繕・改修方法を研究し工事費の削減も図る。

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
実施内容	小中学校工事請負費	目標値	千円		39,035	60,000	17,000	10,000
		実績(見込)値		18,419	39,035			
		目標値	千円					
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施による施策指標の達成度）								
施策の指標	小中学校工事発注件数	目標値	件		11	10	10	10
		実績(見込)値		10	11	10	10	10
		達成率		100.0 %	110.0 %			
		目標値	件					
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			

5. 事業評価

(1) 平成24年度の行政評価結果をうけて、平成24年度に取り組んだ改革改善点について記載してください。									
児童・生徒が安全で快適に学ぶことができる教育環境を確保するため、施設の老朽化や整備を要する箇所を把握し、適切な維持管理に努めなければならない。学校施設の耐震化と合わせ、緊急性・危険性を解消するための整備を計画的に実施する。									
(2) 項目別評価									
評価項目		評価の指標			客観的評価点及び評価理由				
1. 目的妥当性		①事業の必要性,緊急度は高いですか？			5	ますます必要性は高くなっている(または、緊急性が極めて高い)			
		②行政が実施すべき事業ですか？			5	行政以外には実施できない事業である			
		③受益者が特定の個人や団体に偏っていませんか？			5	広い範囲に対して便益が提供されており、偏りは見られない			
15	A	補足	年々学校施設の老朽化が進み小規模な修繕・メンテナンスだけでは対応しきれないケースが増えてきている。学校からの改善要望も多数上がっており、事業の必要性はますます高まっている。						
2. 効率性		④事業の手段（やり方）は適切ですか？			4	現在のやり方が一般的であり、特に問題はない			
		⑤コスト効率，人員効率は高まっていますか？			2	効率は徐々に低くなっている(コストは若干増加している)			
6	B	補足	施設の老朽化が進むにつれ一件一件の工事の規模が大きくなる傾向にあり，工事に係る準備や設計，学校側との連絡調整に人員や時間を要する。						
3. 有効性		⑥活動指標，成果指標は達成されていますか？(指標達成度)			4	概ね目標水準に達している			
		⑦事業の成果の進捗は順調ですか？（進捗度）			3	ある程度進んでいる			
		⑧事業のめざす姿は基本施策の目標達成に貢献できますか？（貢献度）			2	基本施策の効果・効率を維持することができる			
9	B	補足	緊急性・重要性の高い案件を優先的に整備し，一定の効果は得られている。						
4. 総合評価		事業全体について評価し,問題点,課題等を指摘してください。							
30 / 40		工事規模の拡大，修繕箇所の増加により人員や財源不足が懸念される。また，学校からの整備要望も取り入れつつより計画的に事業を進める必要がある。							
[5×8項目]									
5. 対応策・提言等		この事業をどのように改善・改革をしていきますか？							
		平成25年度	設計初期段階での現地調査を徹底し，工事費の削減を図りながらより効果的な整備を進める。						
		[事業実施段階における改善点]							
		平成26～28年度	学校からの改善要望を取り入れながら，緊急性や危険性の高い事業を優先的に整備する。また，限られた財源を有効に活用できるよう，より効果的な修繕・改修方法を研究し工事費の削減も図る。						
		[今後の事業見込による改善点や改革点]							

評価主体	25年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減，成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注)記入者は「5. 事業評価」を記載するため，この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減，成果維持・コスト維持又はコスト削減)	児童・生徒及び教職員の安全確保と快適な教育環境を保持するするため，適正に執行する必要がある。老朽化に伴い修繕箇所は増大傾向にあるが，限られた財源を有効に活用するため，現地調査を徹底し，計画的な整備を進める。今後は，整備手法の工夫も必要になる。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおりであるが，H26年度計画の結城小学校グラウンド改修は，その必要性及び事業内容を再考・精査した後，実施するものとし，事業費及び実施年度を変更する。